

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた理念やモットーを、全職員が共有して実践に繋げる。	全職員が基本的理念に込められた意味を理解し、日々のケアや関わりに活かす。 迷った時の判断軸にすることができる。	・朝の申し送りで「みろく苑のモットー」を、夕の申し送りで「グループホームの理念」を職員が唱和する。	12か月
2	38	○日々その人らしい暮らし 職員の価値観で関わり、一人ひとりが、その日を「どのように過ごしたいか」理解や把握ができていない。	入居者、一人ひとりを知り、その方のペースに合わせた過ごし方ができるよう、個別に理解と把握ができる。	・職員は「本人が発する言葉」や「しぐさ」を共有する為、朝、夕の申し送りを確実に行う。 (ケース記録に何気ない会話や行動を残す) ・定期的に個別のケース会議で話しあう。	3か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。